

モルック体験交流会

日 時: 令和7年7月6日(日) 9時30分～11時40分

会 場: 秋田県生涯学習センター ツドウベース(障害者スポーツスペース)

参加者: ツドウベース利用者、身体障害者協会会員、特別支援学校生徒・卒業生(家族を含む)、大学生、あきた With関係者、生涯学習センター調査研究委員、障害者スポーツ団体職員、ボランティア(計29名)

「モルック」で交流を深めるイベントを実施した。障害の有無にかかわらず、誰もが共に楽しむことができるように、手作りの紙製モルックを使用したり、点数計算アプリを使用したりし、参加者に合わせ工夫しながらの開催となった。あきた With (※) からは道具や賞品等で参画していただき盛大な体験会となった。



参加者全員での記念撮影



室内でできるようにロール紙の芯を材料としたモルック

※あきた With は、秋田県生涯学習センターの学習活動の趣旨に賛同した県内企業で設立した非営利任意団体です。

【ゲームの様子】

初めてモルックを体験する方が多かったが、ゲームを重ねるごとにモルックの楽しさを感じ、たくさんの歓声が上がっていた。また、当日、初めて会った参加者同士でチームを編成しゲームを行ったが、モルックを通してすぐに打ち解け合い、ゲーム中や休憩時間に楽しそうに会話をしている場面も多く見られた。体験会終了後には、参加者同士で健闘を称え合うなど、交流を深めることができた様子だった。



モルックのルールをみんなで確認



スキットルをよく見て、慎重にモルックを投てき!!



ナイスプレイにはチームに関係なく、みんなで拍手!

【参加者の声】

- ・モルックが難しかったけど楽しかった。またやってみたい。(特別支援学校生徒)
- ・モルックがこんなに盛り上がるスポーツだとは思わなかった。とても楽しかった。(ツドウベース利用者)
- ・障害の有る無しに関わらずみんなが楽しめる場はとても貴重。これからもこのような場があれば参加していきたいと思う。(生涯学習センター調査研究委員)
- ・モルックを通した、交流会を企画している。ビブスを使ってチームを分かりやすくしたり、アプリを使って点数を計算し、プロジェクターで投影するのがとても分かりやすいと感じた。私たちもこれらを試してみたいと思う。(障害者スポーツ団体職員)